

令和6年度 定例会 追加補正予算 質疑 (抜粋) 令和6年12月

1. 事業の執行率向上に向けた 更なる周知の工夫を！

【佐藤幸雄議員】提案された全ての事業において、これまで同様の事業を実施した際、*1**不用額**は発生しているのか。発生しているのであれば、その割合と共に所見を伺う。

また、全ての事業における予算執行については、適正な執行はもとより、限りなく100%に近づけることで、本市の更なる福祉の向上や経済活性化等に資すると思うのである。そのためには周知の工夫などが必要であり、特に**プッシュ型**での更なる周知を求めるが、支援等が行きわたる期間も含め所見を伺う。

【財政局長】昨年度に引き続き実施する事業もあり、執行率の実績として低所得世帯への給付金、福祉施設への助成金等では100%や90%台後半が多い一方で、50%を下回る事業も一部見られたところである。

物価高克服のための幅広い支援策が、**より多くの方々に行き届きますよう担当局と連携し、確実に速やかな事業執行に努めてまいります。**

また、支援期間については、食材費や光熱費への助成事業などは概ね年度内に完了する見込みであるが、事業者への支援策などは、翌年度にわたる一定期間の支援を要することから、*2**繰越明許費**を設定しているところである。



令和6年度 第4回定例会
追加補正予算質疑 令和6年12月18日

*1**不用額**とは、使わなかった予算額。当初予算と補正予算の合計額から、年度内に支出した額と、翌年度に繰り越した額を差し引いた残額に当たる。予算編成時の見積もりが甘かったり、予算執行時に想定以上に節約できたりした場合に発生する。不用額の一部は、税金のうちの特例を上回った分と同じように、国債の発行額を計画より減らすことに使われる。

*2**繰越明許費**とは、年度内に支出を終わらない見込みのある経費を、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費

2. 経済活性化策を早急に推進 して物価高への対応を！

【佐藤幸雄議員】中小事業者への「**物価高騰克服・賃上げ応援パッケージ**」事業は、物価高が続く中での地域事業者の収益向上・賃上げを後押しするため、経営体制強化につながる業務効率化などに関する総合的な支援を実施するものであり、**更なる支援も求める**ところである。

そこで伺うが、各事業の効果をどの様に分析されているのか。又、賃上げは順調に推移しているのか。今後の対応も含め所見を伺う。

* 中面につづく

S A T O Y U K I O

佐藤 ゆきお

泉区 市議会通信 VOL.38

発行元 / 仙台市議会議員 佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1-56-15-1 TEL 022-272-4863
2025年1月発行 E-mail yukio@sendai-komei.jp

一人の声を市政につなぎます



HP QRコード

令和6年度 第4回定例会に提出された議案件数は条例案件が8件、その他案件が17件、追加補正予算案が1件の合計26件 12月23日に議案全てが可決成立！

追加補正予算 合計 67億6百万円余

(令和6年度 第4回定例会 追加補正予算案の概要 仙台市公式ホームページより)

仙台市令和6年度 第4回定例会 追加補正予算(概要)

(令和6年12月~令和7年3月)

「住民税非課税世帯緊急支援給付金事業費」**46億9,922万円余**
特に物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯を支援するため、給付金を支給するもの

「福祉施設等に対する物価高騰対策助成」**9億4,015万円余**
物価高騰の影響を受けている福祉施設等が、今後も安定した事業を継続できるように、食料費や光熱費等の物価上昇分に相当する助成金を支給するもの

「物価高克服・賃上げ応援パッケージ」**1億7,621万円余**
物価高が続く中での地域事業者の収益向上・賃上げを後押しするため、経営体制強化につながる業務効率化や、売上拡大に向けた域外需要の獲得等に関する総合的な支援を実施するもの

令和7年度仙台市予算及び制度改正に係る要望書 (概要)

【公明党仙台市議団】

世界経済がコロナ禍から抜け出して、回復基調に入り成長の兆しが見え始めましたが、気温上昇や、ロシア・ウクライナ紛争の長期化、中東情勢の悪化など、国際社会における不安定要素から国内情勢は緊張が続いております。市内でも物価高騰の波が深刻で、成長の恩恵を受けられない市民の生活に多大な影響を及ぼしています。

東日本大震災から14年となりますが、「最後のお一人が立ち上がるまで復興は終わらない」との意志は変わりません。引き続き、必要な対策を講じていくことを求めるものであります。

将来を見据えた少子化対策、子育て支援策に全力で取り組む必要があり、公明党仙台市議団は、「防災・減災を市政の主流に」「子育て支援を市政の主流に」と主張するものです。

ここに、最重点要望16項目、重点要望69項目をまとめ、令和7年度中の予算化・施策化を求めるとともに、施策の実現に向け来年度以降も庁内で検討を重ね真摯に取り組まれることを要望致します。



仙台市役所 本庁舎 11月11日



【最重点要望(項目のみ掲載)】

- I. すべての人が輝く街をつくること
- II. 働く人も動かない人も安心できる生活環境をつくること
- III. 災害に負けない地域社会をつくること

【重点要望(項目のみ掲載)】

1. 持続可能な財政施策による市民生活向上と財政基盤強化
2. 社会基盤の整備
3. 産業の振興
4. 安心・安全な街づくり
5. 新時代を担う子育て
6. 教育環境の充実
7. 若者支援の充実
8. 生命と健康を守る
9. 高齢者の安心
10. 環境に配慮した快適な暮らし
11. 文化芸術・スポーツ・観光の振興

*表面よりつづき

【経済局長】このパッケージには、7つの事業を計上しており、その中で、デジタル活用による業務効率化や生産性の向上、販路の開拓や高付加価値化による売上の拡大、就労環境の整備やリスキリング等による人材の確保などを図るものである。

これらの事業が相まって、企業における収益力向上といった効果を生み出し、厳しい経営環境下にあっても、事業の継続や持続的な賃上げにつながるよう取り組んでまいります。

また、賃上げの現状と今後の対応についてですが、直近の本市地域経済動向調査では、賃上げを実施した企業の割合は、前年に比べて5ポイントプラスの53.2%である一方、賃上げの実施に至らない企業も一定数はある。

このため、今回の補正予算案において、賃上げの原資となる収益の確保に向けて、生産性の向上や販路開拓、人材確保などの総合的な支援策を実施することとした。

今後とも経済動向の把握に努めながら、持続的な賃上げが図られるよう、地域企業の支援に取り組んでまいります。

【佐藤幸雄議員】観光プロモーション事業費の追加については、宿泊料金の割引等を行う**宿泊キャンペーン**を実施するものであるが、この**事業の経済波及効果**について伺う。

また、事業効果の最大化には、宿泊事業者の閑散期に行うことが重要であり、更には市民への予約手続きの「わかりやすさ」や事業者の事務事業の簡素化を求めるところである。

特に**宿泊事業者へは、この機会に事務事業の効率化に資するシステム改修などの「声」を伺い、寄り添った対応を求め**るが、今後の取り組みについて伺う。

【市長】宿泊促進キャンペーンについてですが、観光はすそ野の広い産業であって本キャンペーンの実施により、地域経済にとっても大きな波及効果が期待されるところである。

今回のキャンペーンでは、**最大およそ5万人泊を想定しており、その経済波及効果はおよそ11億円と見込んでいる。**

本キャンペーンは、宿泊事業者の準備期間を十分に確保するとともに、閑散期のてこ入れを図る趣旨から、例年宿泊者数が少なくなる6月を中心に実施しますが、関係する事業者の方々と連携を図り、地域の消費拡大につなげ、効果が最大限高まるよう準備を進めてまいります。

【文化観光局長】**宿泊事業者の事務効率化に向けた支援**についてですが、**宿泊事業者にとって人手不足は喫緊の課題**となっており、これまでも**人材確保や事務効率化に向けたシステム導入**などについて支援を求めた声を伺ってきた。

こうした状況を踏まえ、現在、**外国人材を含む人材確保や事務効率化に資するDX化の推進などを支援する総合的な補助制度の創設を検討**しているところである。

今後とも、**宿泊事業者の意見を踏まえながら、ニーズに沿った支援策を講じて**まいります。

日々の地域実績



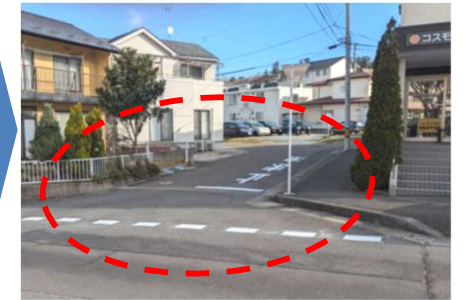
整備後



徐行・破線（路面注意喚起）設置 安全対策



整備後



止まれ・破線（路面注意喚起）設置 安全対策

南光台東3丁目付近

日々の活動



仙台中央食肉卸売市場(株)「番魂祭」
(仙台市) 9月20日



会派視察 こども本の森 遠野
(遠野市) 10月10日



泉区老連創立60周年記念祝賀会
(イズミティ21) 10月11日



南光台市民センターまつり
(南光台市民センター) 10月12日



萩の会 創立五周年記念
萩乃明扇 感謝の集い
(江陽グランドホテル) 10月27日



魯迅仙台留学120周年記念行事
(仙台市博物館) 10月28日



会派視察 国土交通省 公共交通政策
(衆議院第二議員会館) 11月7日



会派視察 中野区役所 子育て支援事業
(東京都) 11月8日



会派視察 中野区 こども若者支援センター
(東京都) 11月8日